

# 地域部活動通信 第2号

令和7年12月発行  
いちき串木野市教育委員会  
学校教育課 21-5127

## 1 部活動の地域展開に関するアンケート結果と分析

いちき串木野市では、令和6年5月から市来中学校を、また令和7年5月から串木野中学校をモデル校として、休日の部活動の地域展開の取組を進めています。今後、さらに部活動の地域展開を推進するにあたり、その基礎となる情報や課題等を把握するため、令和7年7月から10月にかけて、モデル校を除く市内3校(生冠中・串木野西中、羽島中)の生徒およびその保護者、教職員を対象とした意識調査(アンケート)を実施しました。

### ① 部活動の地域展開に期待すること(複数回答可)



生徒	内 容	%
1	特になし	55
2	専門的な指導	30
3	技術力の向上	28
4	練習施設・設備の充実	23
5	レベルに合った活動	20
5	他校の生徒との交流	20

保護者	内 容	%
1	専門的な指導	68
2	希望する種目の継続	43
3	技術力の向上	41
3	教員の負担軽減	41
5	練習施設・設備の充実	27
6	他校の生徒との交流	26

教職員	内 容	%
1	業務の負担軽減	97
2	技術力の向上	76
3	希望する種目の継続	59
4	練習施設、設備の充実	38
5	レベルに合った活動	34
6	多世代の住民との交流	28

地域部活動に期待していることとして、専門的な指導による技術力の向上や教職員の負担軽減などが多く挙げられています。

### ② 部活動の地域展開に心配なこと(複数回答可)

生徒	内 容	%
1	特になし	56
2	活動経費の負担増	22
3	活動場所への移動手段	16
4	指導者との人間関係	13
4	平日と休日で指導者が変わる	13
4	他校の生徒との交流	13

保護者	内 容	%
1	活動場所までの送迎	70
2	活動経費の負担	51
3	平日と休日の指導者が変わる	34
3	指導者との人間関係	34
5	他校の生徒との人間関係	30
6	指導方法(勝利至上主義など)	26

教職員	内 容	%
1	指導者等との情報共有	55
2	指導方針の共通理解	52
3	指導者との人間関係	48
4	怪我等への対応や補償	45
5	練習日程の計画、情報交換、連絡調整時間の確保	41

生徒や保護者にとって心配されることは、活動場所までの移動手段や活動経費に関することが多く、教職員にとっては、地域指導者との情報共有や指導方針の共通理解などが挙げられています。

### ③ 現在の部活動指導における悩み(複数回答可)

教職員	内 容	%
1	専門外の指導	52
1	プライベート時間等の確保	52
3	授業準備等の時間の確保	48
4	他の業務による指導時間の確保	38
5	特になし	17



経験したことがない専門外の部活動指導やプライベート時間、授業準備等の時間確保などが、教職員の悩みとして多く挙げられています。

## 2 モデル校における休日部活動の地域展開の状況について

今年度、モデル校においては、休日部活動の地域指導者（外部の指導者および兼職兼業の教職員）を配置して、休日部活動の地域展開に取り組んでいます。指導者の謝金等必要経費については、国の部活動改革に係る実証事業（国の委託事業）を活用して、公費で賄っています。（生徒のスポーツ安全保険は自己負担です。）

＊今回、9月から10月にかけて、実際に休日部活動に携わっている指導者の方々に対し、意見等調査（アンケート）を実施しました。（35名中30名回答；回答率86％）

### ② 今年度の実証事業（休日部活動の地域展開）に取り組んで、メリットやよかったと感じていること（複数回答可）

順	内 容	%
1	専門的な指導を受けさせられる	63
2	先生方の負担が減ったこと	37
3	謝金が支払われること	27
4	活動が充実していること	17
5	特になし	17

### ① 今年度の実証事業（休日部活動の地域展開）に取り組んで、デメリットや課題と感じていること（複数回答可）

順	内 容	%
1	活動内容	33
2	特になし	30
3	活動時の健康面や安全面	27
4	生徒の指導	23
5	保護者の負担（保険料など）	20

＊今年度の実証事業に取り組んで、メリットやよかったと思うこととしては、専門的な指導を受けさせられることが一番多く、次いで先生方の負担軽減、謝金対応などが多く挙げられています。また、デメリットや課題と思うこととしては、活動内容のことや、デメリット等は特になしという意見、活動時の健康・安全面のことが上位に挙げられています。

＊この他、実証事業で設定している休日の勤務時間や謝金の金額等についての意見として、「妥当だと思う」と「（増減の）検討が必要だと思う」の意見が、いずれも50％前後という状況が見られました。

## 3 部活動改革における最近の国の動向と今後の方向性について

現在、国においては、令和7年5月に公表された「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめに基づき、来年度以降の取組の方向性や支援策等が検討されています。

### 【最終とりまとめの主なポイント】

＊「地域移行」の名称変更 ⇒ 「地域展開」へ（コンセプト：①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく＋②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能にする。）

＊次期改革期間として「改革実行期間」を設定。（（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度）・・・現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手。「改革実行期間」中に、原則、全ての学校部活動において、休日の地域展開の実現を目指す。

＊地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等を検討。（国において受益者負担の目安等を示すことも検討。）

**本市においては、今後示される国の支援事業等を活用しながら、また、指導者アンケートや保護者会の意見等も参考にして、引き続き休日部活動の地域展開の取組を進めていきます。ご協力をよろしくお願いします。**

※ 地域部活動通信のバックナンバーは、市のホームページでご覧いただけます。

（スマートフォン）右のQRコードを読み取ってください。

